

登山 今キタ

15年ぶりに挑戦 前穂高の東壁

◆前穂高岳東壁右岩稜
▽8月2日▽静岡・三島勤
労者山岳会―毛利哲也、後藤
隆徳

夏山登山学校で乗鞍岳と前穂高に向かう三十八人と午前5時半別れる。岳沢ヒュッテを経由して前穂高着10時。天気は絶好の登はん日和。頂上で登はん具を着け、北尾根を下降。3、4のゴル着11時。O沢は雪渓がびっしり残っているので左岸を下り、B沢出合に11時40分。ここで大休止して昼食とした。

目も同じようなバンドを登り、ピナクルテラスに到着した。

3ピッチ目、いよいよ核心部の四十肩登はんだ。高度感もぐんと増し、快適に登る。オーバーハンクの下で毛利氏を迎える。ルートはここから小さなハンクに向かうが、以前に比べると岩の崩壊が進み、出っぱりが小さくなっている。そのためこのルートの魅力を半減させてしまっている。十五年前のハンクはもっと大きくて立派だった。

しかし、毛利氏の体調が思わしくなく、このハンクで手こずった。そこで私が確保してもらい先行する。ハンクの上でハーケンになげなく乗ったラスポーンと抜け、ハンク下まで落ちてしまった。気をとり直してふたたび登り、ハンクを抜け、ようやく上部の岩稜に出た。

途中で別かれここでDフェースに挑戦中の山田、吉田両氏を確認し、コールを送る。彼らも元気に登っていて安心した。大テラスに着き、Aフェースを2ピッチ登り、15時45分前穂頂上に着いた。Dフェース隊がくるまで一時間ほど昼寝。とても気持ちよかった。



前穂山頂で毛利氏（左）と筆者

17時、Dフェース隊と合流して、みんなのいる岳沢ヒュッテに向かった。52歳の毛利氏もよく頑張った。

(後藤隆徳)